

議会報告・意見交換会アンケート（議員定数・議員報酬に関する御意見（自由記載））

【A班・天童中部・5月18日】

- ・議員定数は現在の人口割にしては22名で良いと思います。市民の声をより多く聞くためにも必要です。
- ・見直しの出発点、問題点がどこにあるのか、不勉強で分からないところもありますが、いたずらに減らすということにならないよう見直しを進めていってほしいと思います。むしろ、もっと多くの人が参加できるような仕組みになった方が良いのではと思います。
- ・市議の定数を問題視する前に、市議も生活できる収入を獲得すべし。
- ・議員定数を18名にして収入を120%昇給すべし。
- ・定数22名は、人口減少化に合わせて減らしていくべきと考えます。また、女性枠を意識的に入れていないと男女共同参画の視点からも時代遅れになると考えます。
- ・定数を少なく報酬を上げるべきだと思います。
- ・定数は減らす方向で考えていくのが良いと思います。ただ、削減が絶対ではなく、議員活動がもっと見える化され、議会が有効に機能していると市民に理解されれば現状でもさほど問題ないのかなとも思います。議会の夜間や日曜日開催や育児支援など、広く市民が参加でき、議員のなり手の裾野を広げる活用が必要だと思います。

【A班・蔵増・5月19日】

- ・定数の現状維持でよい。
- ・サラリーマン議員と言われない議員になってください。議員の言葉の発言で俺の最も嫌いな言葉は「しつかりやります」。
- ・現状でよい。
- ・定数は議会で話し合いの上で。
- ・議会の途中でも報告をしてもらいたい。

【A班・成生・5月20日】

- ・定数減、報酬増。
- ・議員定数はもう少し減らしてもいいのではないかと。報酬は据え置きでいいと思う。
- ・現状のままでよい。
- ・現在のままでよい。社会情勢が悪化している。
- ・情報が無いので判断できない。

【B班・天童南部・5月18日】

- ・議員定数は適していると思うが、報酬は山形県でも高額な金をもらいすぎていると思う。
- ・ご苦労様です。遠慮せず市民に注文つけてください。
- ・定数減はすべきではないのでは。
- ・定数は15~20名でいいのではないかと。予算内で間に合うのであれば報酬はそのままで。
- ・定数減は必要です。
- ・詳細な説明等ないと議論できない。

【B班・寺津・5月19日】

- ・報酬改定については、時代に沿った値上げを含めて検討について賛成。
- ・現状のままで良い。
- ・議員はそのままで報酬はもっと大で良いと思う。

【B班・高橋・5月20日】

- ・地域ごとに定数を決めて選出すれば良いのかな。特に問題的には考えていない。御苦労様です。もっと高額に。
- ・22名の定数は多いと思われる。報酬に見合う活動がなされているとは言い難い。もう少し少数精鋭で活性化を望む。若者が政治、議会にもっと関心を持てるような活動を望みたい。
- ・報酬をもう少し上げたほうが良いのではないかと思います。

【C班・干布・5月18日】

- ・報酬について25年据え置きは少々厳しいですね。今後、多様な人材から市政に興味を持っていただき、議会の活性化につながる定数や報酬を望みます。
- ・6万市民に対する議員数、さらには報酬については現況では適正ではないかと判断されます。
- ・相応の報酬は必要だと思います。色々な意見を市政に反映させるためには人数は必要（議員さんには託された市民の思いを胸に、大いに活躍していただきたいという前提で）。

【C班・山口・5月19日】

- ・定数減後、報酬を上げるべきです。
- ・議員の志があれば問題なし。

【C班・天童北部・5月20日】

- ・議員定数・報酬には異議なし。ただし、それに見合う仕事をしていただければ。

【D班・津山・5月18日】

- ・会社でいう業績給にできればいいのではないかと（業績を何で測るかは分かりませんが）。
- ・若い方からも意見も聞いてみると良いと感じる（30～40代など）。サラリーマンと議員の両立ができるように企業でも協力できるようにしてもらえれば良いと感じた（例：消防協力企業のように）。
- ・委員会等での議論を参考にしながらまだまだ考えなくてはならないと思います。
- ・定数減 20or18。
- ・22名から20名に。
- ・若い人が参加し、活発な活動を望む。目に見えるような議会にしてほしい（土日、夜の議会の開催）。
- ・定数を削減し、報酬をUPし、魅力を持たせては。

【D班・長岡・5月19日】

- ・議員のアンケートを集約して、定数や報酬の問題などの議会改革にどのように反映されていく考えなのか。どのような方法で市民の意見を集約していくつもりなのか。
- ・市民が自ら参加する、出来ることを考え、議員同士の意見交換を期待します。

【D班・荒谷・5月20日】

- ・報酬は600万円くらいが妥当。
- ・今後若手議員を増やすためには、やりがいややる気などではなく、自身の生活の見通しを立てられる額の報酬であると思う。現在の額では会社を辞めてまで飛び込める状況ではないと思う。

議会報告・意見交換会発言要旨（議員定数・議員報酬に関する御意見）

【A班・天童中部・5月18日】

・議員定数は世の中の流れを見て、3年5年サイクルで見直しをしてもらいたい。女性議員を3分の1ぐらいに意識的に増やすべきだ。

【A班・成生・5月20日】

・議員定数・議員報酬について議会で、なぜ取り組んでいるのか。

【B班・天童南部・5月18日】

・議員定数・報酬、時間もなく今この場ではなく、日を改めて、この課題に特化して話し合いの場を作って頂きたい。

【B班・寺津・5月19日】

・人口減少で議員削減もあると思う。報酬について昔は議員だけで生活をする事は考えられなかったと思う。片手間の議員活動が多かったと思う。報酬に対しては上げることもやぶさかではない。
・全国的な課題であり、なり手不足が深刻な問題である。多くの人から参加していただき天童市に合った改革を進めていただきたい。

【B班・高掬・5月20日】

・定数はそのままでもよい。報酬は山形市に比べて少ないのではないかと。村山と尾花沢ぐらいでならかわいそうだ。もう少し上げた方がよい。
・昔の議員は本業があり、副業で議員をしてきた。今ではいろいろな要望があるので、議員は専業でなければならぬ時代になったので大変だと思う。兼業の人でも本業の議員活動をしっかりと活動するために、報酬は上げてよいと思う。

【C班・干布・5月18日】

・定数・報酬については何とも言えないが、将来の子供たちが住みやすい、持続可能な魅力ある市を作ってほしい。
・約6万人規模の市では、定数・報酬は現状で良いと思う。
・議員定数を減らせば地域の声が届かなくなってしまうのではと心配する。報酬については、別にない。
・地域の事も大切だが、市全体の事も考えて活動してもらいたい。
・定数・報酬については現状で良い。ただ、それに見合った議員活動をしてもらいたい。

【C班・山口・5月19日】

・議員定数・議員報酬について、県内他市の状況はどうなっているのか。
・議員定数・議員報酬については、議員のアンケートでは議員もおおむね定数の削減には賛成している。私も何人の削減が適正かは分からないが、定数の削減には賛成である。その上で、報酬を上げる方向でよいと思う。

【C班・天童北部・5月20日】

・報酬の増額の背景は。年金が無いということであれば、年金を前倒ししてとはいかないけれども、22名を2名減らしてその分を分配するような方法もあるのではないかと。市民が納得するような整合性のあ

るような理由を示した方が良い。

・天童市は、この人口を抱えているのであれば報酬は低いと思う。報酬は上げても構わないと思う。成り手が少ないのは、何の魅力もないからです。魅力があれば私たち若手は、この街のために立ち上がろうという気持ちになる。年金だって無いのに、この報酬でどうするみなさんと思う。街のために働いて一生懸命やればいい。報酬を上げたとしても、成り手が少ないのは報酬が少ないからだという安易な考えはやめた方がいい。

・議員定数削減とあるが、議員の数を減らしてやっていけるものなのか。増やした方が良いのか皆さんからお聞きしたい。

【D班・津山・5月18日】

・職業として見た場合、選挙資金・4年に1度の選挙・落選のリスク・議員年金も無い、などを考えるとハイリスクな職業だ。もっと定数を減らし、その分もっと報酬を上げて良いのではないかと。

・各町内会の代表として4年に一回間違いなく当選させれるようなしくみ作りも必要なのではないかと。

・選挙は必要。街のコンパクトさもあり、定数はもう少し少なくてよい。報酬はきちんと働いてもらえれば上げてよい。

・時代に合わせて定数を減らし、コンパクトにするという事で、その分報酬を上げられるのか分からないが、定数は減らしても良いと思う。

・議会は（平日の）日中やっているので傍聴したいができない。活発な意見を交わしている所を見て、自分も議員になりたいという人が出てくれば、もっと活性化すると思う。夜や休日に議会をやれば傍聴もできるし、日中仕事をしている人も議員になって活躍できる。立候補者も増えれば選挙も面白くなる。

・議員定数は減らしても大丈夫だと感じる。その分報酬を上げて、やる気のある人が議員になってくれれば良い。

【D班・長岡・5月19日】

・議員のアンケート調査をして、どういう答えを導きだそうとしているのか。議員定数・報酬について市民の意見を伺うのは、今日の今回だけなのか。第三者機関を設置し、天童市議会の分析をし、有権者からの議会改革の提言などを受け、市民アンケート調査などを行い、市民に議会改革案を提示すべき。例えば、兼職を認め、議会に参加しやすくする、夜間や日曜日に会議を開くとか、また定数を増やし、その分報酬を下げ、新たな財源増が発生しないようにしてはどうか。女性も若者も参画しやすい市民目線の議会改革を強く要望する。

・若い世代は政治にあまり興味がなく、魅力を感じないのでは。

・議員報酬が議題にあがるのは、議員の皆さんが安いと思ったからか。考えを聞きたい。

・議員は一般質問で質問をし、それに対して市長や執行部が答えるが、その後どうなっているのか市民に見えてこない。その後の経過が分かるようにしてほしい。

・市の任用職員の給与の昇給も、議員報酬と同時に検討してほしい。

【D班・荒谷・5月20日】

・何を基準に定数を決めているのか分からないが、他市と比べてもこんなものか（定数22）と思う。女性の割合を数値目標などを示して増やして欲しい。

・バリバリやる人よりも、人の話をよく聞いて反映できる人が望ましい。活動が目に見える形でフィードバックできれば良い。

・議員活動をやっていくうえで、報酬が多いか少ないかは議員本人が一番よくわかっていて、私たちは分からない。